

だれもが  
その人らしく  
住み慣れた地域で  
共に いきいきと  
暮らせるまち 柏

資料編はこちら▼



こちらから、計画の詳細が  
掲載されている「資料編」  
を御覧いただけます。

第5期 柏市地域健康福祉計画  
発行／令和7(2025)年3月  
柏市 福祉部 福祉政策課  
〒277-8505 柏市柏五丁目10番1号  
TEL:04-7167-1131 FAX:04-7164-3917

# 柏市地域健康福祉計画

第5期  
令和7年度～令和12年度



# だれもが その人らしく 住み慣れた地域で 共に いきいきと 暮らせるまち 柏

## 計画策定の趣旨と背景

柏市地域健康福祉計画は、社会福祉法107条に基づく「市町村地域福祉計画」として位置づけるものです。本計画は地域健康福祉に関する理念や方向性を定め、地域に起きている地域健康福祉課題について地域に主眼を置きながら、そこに住むさまざまな世代の人々とともに解決していくことを目的としています。第5期計画は、令和7(2025)年度から令和12(2030)年度までの6年間を計画期間として、全ての市民を対象に、「地域」という視点を基盤に分野を横断的に考え、地域に関わる全ての人と組織とが協力し合いながら支え合うための方針として策定するものです。

INDEX	柏市における地域共生社会及び地域福祉の考え方	P 03
	計画の全体像	P 09
	基本方針別の基本施策と取組	P 11
	その他関連計画	P 20
	用語集	P 22

### だれもが

年齢・性別・障害の有無・国籍などを超えたすべての人を対象に考えていくという意味を込めています。

### その人らしく

一人ひとりが持つ能力を最大限に生かして、心豊かに自分らしく生きていける社会にしていきたいという想いを込めています。

### 住み慣れた地域で

柏に慣れ親しみ、愛着を持っていた地域で、高齢や障害等により、他者のサポートが必要になったとしてもいつまでも暮らしていけるようにという想いを込めています。

### 共に

多様な人々や資源(関係機関)がつながり、共に助けあい支えあう「共助」の関係をもちながら暮らしていけるようにという想いを込めています。

### いきいきと暮らせるまち

社会から孤立することなく、多様な主体との関わりの中で生きがいを持ち、安心して暮らせるまちになるようにという想いを込めています。



【図1】柏市の地域福祉の考え方



## 地域共生社会の実現へ

今後の地域健康福祉の取組を充実させる分野共通の5つの視点

1. だれもが活躍できる場や機会があると感じられる
2. みんなの多様なアイデアや経験を地域に生かせる
3. 多様な考えや価値観などの理解を深める
4. 地域の中に見守りの輪がある
5. 互いの違いを認め合いながら尊重できる

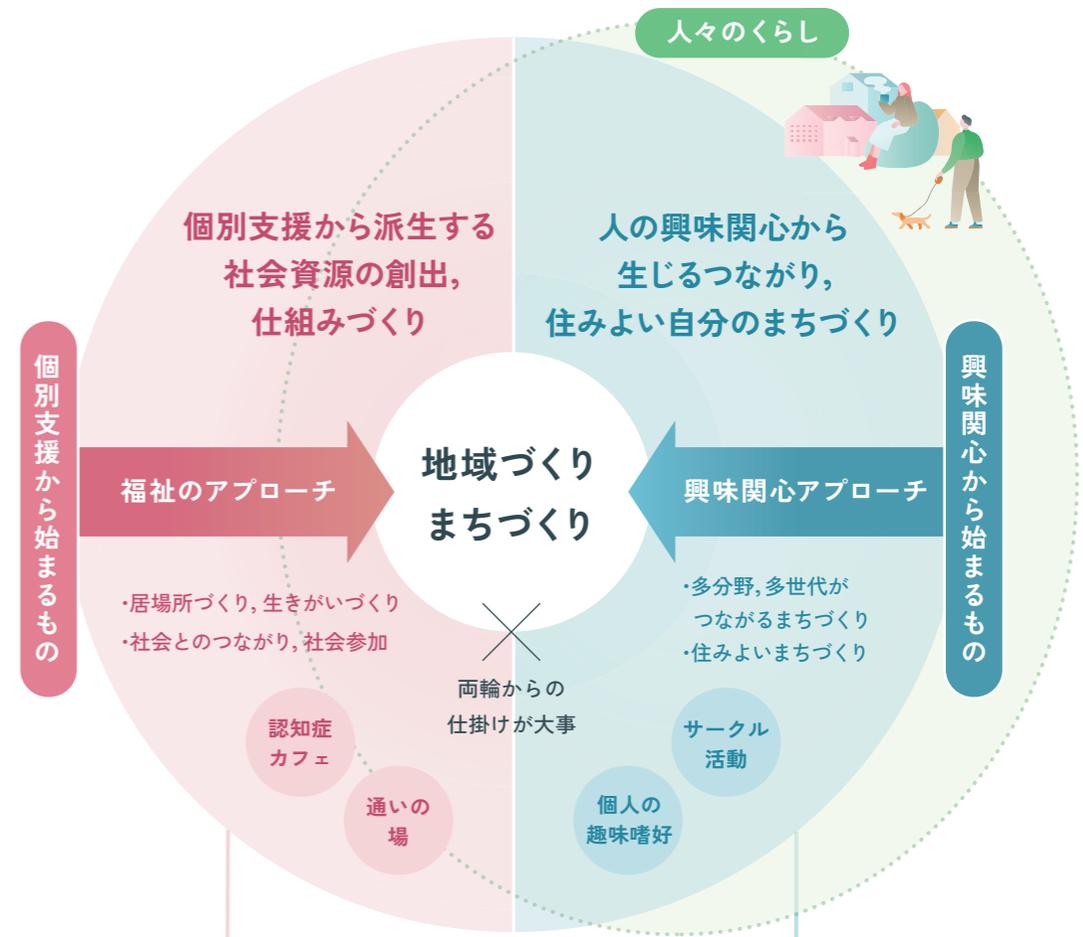
近年の社会情勢の変化によって、従来どおりの縦割りによる制度だけでは、充分に対応しきれない制度の狭間にある問題をはじめ、福祉的ニーズは多様化しています。多様化するニーズに対応するため、本市では、それぞれの分野における取組を進めるだけでなく、分野横断的な福祉課題への対応や健康福祉分野の基盤となる取組など、行政サービスの充実を図っています。また、これからの地域福祉を考える上では「持続可能性」が重要な要素であり、公的な福祉サービスの整備

に加え、市民一人ひとりが自分自身や身近な人と協力し解決する「自助」、地域活動・地域福祉活動を行う人たちや地域の関係者等が連携し、それぞれの役割や特性を活かして活動をしていく「共助」の重要度が、ますます高まっています。このようなことから、地域活動を将来的にわたって安定的かつ継続的に実施するには、活動の担い手となる人材が必要不可欠なため、これからの地域福祉を推進するにあたり、5つの視点を重視して取り組んでいきます。

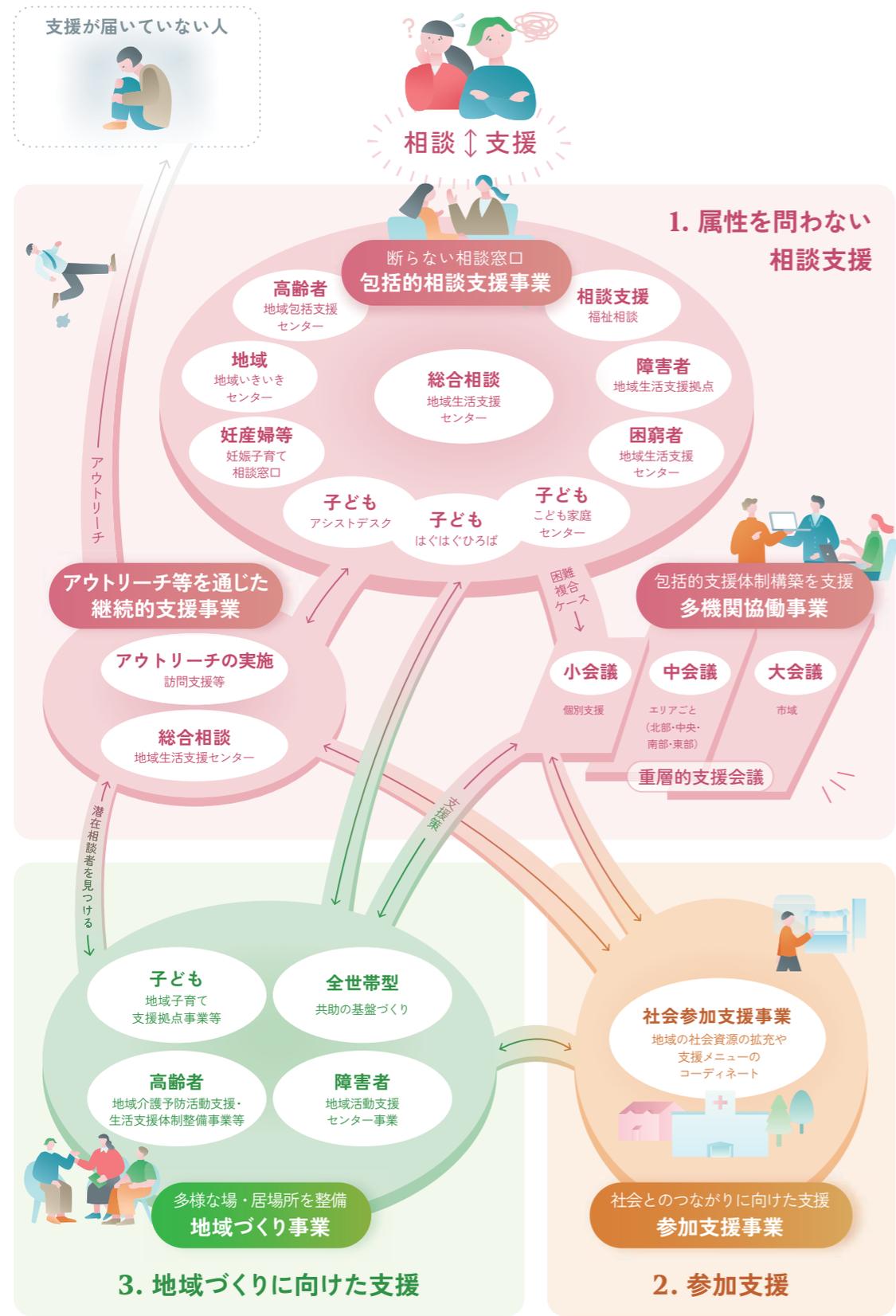
全ての市民が住み慣れた地域で充実した生活を営めるよう、令和4年度から重層的支援体制整備事業を実施しています。複雑化・複合化した地域生活課題にも対応できる地域住民の助けあいや居場所づくりなどの取組に加え、課題解決が困難な事例に専門機関が知恵を出し合う取組として「福祉の総合相談」を設置しました。相談窓口では、さまざまな課題を受け止め、専門の相談支援機関に適切につなげられるよう、分野の垣根を越えた包括的な支援体制を構築しています。また、地域の実践

では「地域を元気にしたい」という思いから始まったまちづくり活動が、地域住民の間で福祉への関心を深め、相互に学び合いながら地域生活課題に取り組む力となることがあります。このような活動は、個別の支援から地域全体の課題へと広がり、持続可能な地域づくりにつながっていきます。さらに、異なる活動が交わることで新たなアイデアが生まれ、地域の個性として育てられています。今後は、こうした活動が出会い、学び合う場を増やすことで、地域力を高める取組につなげていきたいと考えています。

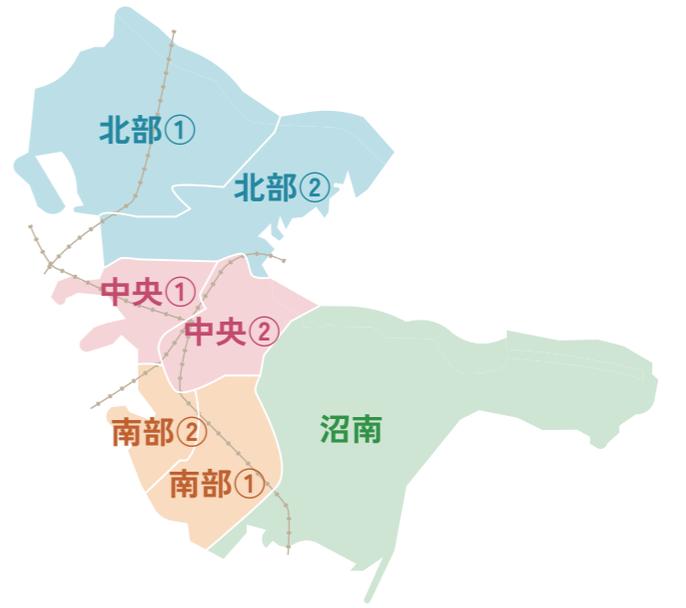
【図2】多様な担い手による地域づくり



【図3】柏市重層的支援体制整備事業の全体像



【図4】柏市における地域(圏域)の設定



本市では、市域を4つの圏域で区分し、これらの圏域を踏まえながら地域の特性に応じたまちづくりを展開することとしています。施策やマネジメントを地域ごとに行う際に用いる圏域を大圏域(4エリア)とし、介護保険法など地域密着型サービスの基盤整備の単位となる「日常生活圏域」を中圏域(7つの圏域)で設定しています。また、最も身近な地域の交流や活動を行う単位である「コミュニティエリア」を小圏域(21コミュニティ)に区分し、設定しています。大圏域(4エリア)では、広域的な視点から施策を推進し、地域全体の調和ある発展を目指します。一方で、中圏域(7圏域)及び小圏域(21コミュニティ)では、地域の実情に即したきめ細かい福祉サービスの提供や、地域資源を生かした地域づくりの視点を重視し、より身近な生活圏での支援体制を整えています。これにより、地域全体のバランスを取りながら、市民一人ひとりが安心して暮らせる環境を整備しています。

大圏域	中圏域	小圏域	主な相談支援機関			
エリア	日常生活圏域	コミュニティエリア	地域包括支援センター※1	地域生活支援拠点※2	地域いきいきセンター※3	はぐはぐひろば※4
北部	北部①	田中, 西原, 柏の葉	柏北部 柏北部第2 北柏 北柏第2	地域生活相談センター シャル	田中 松葉町 富勢 高田・松ヶ崎	柏たなか 若柴
	北部②	富勢, 松葉, 高田・松ヶ崎				
中央	中央①	豊四季台, 新富, 旭町	柏西口 柏西口第2 柏東口 柏東口第2	たんぼぼセンター	新富 豊四季台 新田原	
	中央②	柏中央, 新田原, 富里, 永楽台				
南部	南部①	増尾, 南部, 藤心	光ヶ丘 柏南部 柏南部第2	ふるーむの風	光ヶ丘 南部 増尾	
	南部②	光ヶ丘, 酒井根				
東部	沼南	風早北部, 風早南部, 手賀	沼南	サポートセンター沼南	風早南部 風早北部	沼南
全域			総合相談 地域生活支援センター			

※1 高齢者や家族からの介護や福祉、健康や医療等の相談や地域のニーズに応じて、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう支援を行う相談支援機関。  
 ※2 障害者の相談、体験の機会、緊急の対応など、障害者の地域生活を一体的に支える拠点。一部コミュニティエリアが異なるエリアがあり。  
 ※3 地域の課題解決と地域活動の活性化を目的に、柏市社会福祉協議会により設置されている身近な相談窓口  
 ※4 就学前の乳幼児と保護者、妊婦が気軽に利用できる施設で、親子での遊び、他の親子との交流を図る拠点。また、子育てに関する相談や情報の提供なども実施。  
 はぐはぐひろば若柴は、令和8(2026)年度末に再開予定。

# みんなの声で見た柏

令和5年度に実施した市民の方を対象にしたアンケート実施結果を「みんなの声」として掲載しました。

## Q.1 近所で暮らす人との付き合いかた

近所の人と、会えば親しく会話できるような一つ上の付き合いかたをしたい！

近所のかたと挨拶したり仲良く付きあうことを求めています

参考データ  
近所のかたと行き来する関係や会えば親しく話をしたい → **65.8%**  
現状、上記のような関係 → **44.4%**



## Q.2 地域での支えあいや助けあいに関する関心度

地域活動に関心はあるが、取り組んだことがない・・・

地域活動に **関心** がある人は多数いますが、ほとんどの人が取り組んだことがありません

参考データ  
地域活動に取り組んだことがない、取り組むことができない → **68.3%**  
地域での支えあいや助けあいに関心を持っている → **74.5%**



## Q.3 社会参加と健康度

近所の人と話したり、ボランティアに参加することで健康になっていると感じる！

社会参加（ボランティア・近所付き合いなど）が積極的な人ほど、「健康」を感じています。

参考データ  
健康だと感じている人 → **76.0%**



## Q.4 安心して生活するために重要だと思うこと

人と交流し、気軽に相談できて助けあう仕組みが大事！

重要だと思うこと TOP 3

- 1 いろんな人が交流できる場所をつくる
- 2 何でも相談できる場所をつくる
- 3 災害時にも助けあえる仕組みをつくる





# 基本方針 1 だれもが身近な地域の問題に関心を持ち共に支えあう地域づくり



## 基本施策 1

### 地域での支えあい、助けあいに向けた気づき・学びの場と活動の促進

地域住民が生活課題に気づき、学びを深める場を提供するとともに、住民同士のつながりを育み、交流や居場所づくりを推進します。これにより、地域での支えあいや助けあいの意識を醸成し、住民参加による地域活動の活性化に向けた取組を強化していきます。

#### 主な取組 地域出前講座の実施

市民グループ・サークル・学校等の団体の要望により、市の職員が地域に伺い、市の制度・事業の説明・解説や、職員としての経験、知識等を題材に、市民と対話しながら、互いに地域健康福祉に関する理解を深めます。

- 取組目標 地域福祉に関係する地域出前講座のメニュー数(延べメニュー種類数)
- 現状値(R5年度) 39メニュー
- 目標値(R12年度) 51メニュー

対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域福祉の課題に興味を持つ</li> <li>地域出前講座に参加してみようと思う</li> <li>自分でできる地域活動をしたと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域出前講座に参加するようになる</li> <li>身近な人に講座内容を伝え、自ら情報収集を行う</li> <li>自分でできる地域活動に参加するようになる</li> </ul>	
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人や地域の結び付きの必要性を感じる</li> <li>地域でできる福祉活動を企画したいと思う</li> <li>地域福祉の活動をもっと広めたいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のかたと直に対話し、地域に必要な活動の周知等を行う</li> <li>地域をより住みよいまちにするため、地域活動を実践する</li> </ul>	地域の健康福祉への関心が高まり、多様な主体の社会参加が促進され、市民、地域、市が課題・目標を共有し、地域のコミュニティとネットワークが強化される
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉の近況を反映した、地域と市民の理解を得られる取組が必要と感じる</li> <li>関係団体や支援機関を含む、地域全体のつながりを意識するようになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動の現場の声から、現状を把握する</li> <li>他地域の取組を参考にし、多様な学びと実践支援のために講座の種類や回数を増やす</li> <li>講座を通じて、つながりづくりを支援する</li> </ul>	

## 基本施策 2 地域福祉を担う人材の掘り起こしと育成・活躍支援

持続可能な地域福祉づくりに向けて、人材育成に加え、新たな「担い手」や「つなぎ手」を発掘するとともに、育成した人材が活躍できる支援体制を構築します。また、関係者同士の連携を強化し、地域課題の解決に向けた多様なサポーターの育成と確保を進めます。

#### 主な取組 社会参加支援事業

ラコルタ柏(柏市教育福祉会館)を拠点として活用し、地域住民の生活課題の解決に資する市民や各種団体、企業等の活動の支援及び社会参加の促進を図ります。当初はイベントに参加する側だった人が、自身が主役となってイベントを企画・開催し参加者を呼び込み、さらに同様の人が増えるようなサイクルができるよう支援します。

- 取組目標 地域活動のコーディネート支援により生まれたプレイヤー数(社会福祉協議会が関与したものに限り)
- 目標値(R12年度) 300人/年

対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域のつながりが大切だと感じる</li> <li>趣味や得意なことが地域の健康福祉に役立つと気づく</li> <li>ラコルタ柏での取組等に参加してみようと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のイベント等に参加し、地域とのつながりを意識するようになる</li> <li>地域イベントの案内を身近な人に行う</li> <li>手伝いや運営側として地域活動に取り組むようになる</li> </ul>	
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの活動が、地域の課題解決につながると思う</li> <li>地域活動に関する講座やイベントなどに参加したいと思う</li> <li>市や地域団体と共に、自分たちの地域に合う活動に挑戦したくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラコルタ柏の取組に参加し、地域課題解決に向けた活動を企画・運営する</li> <li>地域活動を担う仲間を増やすための活動の周知や参加を促す取組を行う</li> </ul>	地域における人材が発掘され、だれもが活躍できる場が広がり、地域福祉の向上につながる活動をやりがいを持って行う人が増える
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民、地域団体、企業等からの地域福祉の人材の掘り起こしの必要性を再認識する</li> <li>地域活動に取り組む個人や団体を支援し、活動拡大と連携を意識するようになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の地域人材の把握・整理を行う</li> <li>社会参加促進のためのイベントを開催する</li> <li>地域活動に関心の高い人材を発掘し、活動をサポートする</li> </ul>	

だれもが地域の課題に関心を持ち、主体的に参画し、解決につなげることができるよう、市民が地域課題や地域の活動について知る・学べる機会を増やすとともに、活動に参加意欲がある人の仲間づくりや、地域での活動等に参加・経験できるような仕組みづくりを行います。

## 基本施策 3

### 地域における多様な主体との包括的連携体制の構築と活動支援

地域でさまざまな課題を抱えている人たちのニーズに応じた、より柔軟な支援の実現に向けて、行政による公的支援に加え、地域住民やNPO、ボランティア、民間企業等の担い手による公的制度にとられないインフォーマルな支援ができるよう、地域団体、市民、企業等との包括的な連携体制を構築し、地域団体の活動や住民主体の地域活動を活性化させるための支援体制を構築します。

#### 主な取組

#### 社会参加支援事業

ラコルタ柏(柏市教育福祉会館)を拠点として活用し、地域住民の生活課題の解決に資する市民や各種団体、企業等の活動の支援及び社会参加を促進します。支援が必要な世帯や個人に対して、福祉領域だけでなく多様な関係機関等が関わりあえる活動を増やせるよう、市民主体の地域活動を支援します。



- 取組目標 多様な関係機関や個人が関わった地域活動の数(社会福祉協議会が関与したものに限り)
- 目標値(R12年度) 15活動/年



日々の生活の中での“やってみたい”や“こうなったらいいな”を話す「ワガママ会議」という場に参加しています。気持ちがあるけど一人では実現が難しいことも、それぞれが持っているものを持ち寄り、協力し合うことによって叶えられることがあります。ぜひ一緒に、この場だからこそできる取組を生み出しましょう! ワガママ会議メンバー 高野さん

#### 推進に向けた共創型オーガナイズアクション

対象	気持ちの変化 ♥	行動の変化 🤝	成果
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動団体の取組内容に関心を持つ</li> <li>地域の活動に面白さを感じ、自分にもできることがあると思う</li> <li>地域における自分の役割や可能性を認識する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びや交流の機会となるような地域のイベントに参加する</li> <li>イベントで知った情報や既存の地域活動について家族や友人に紹介する</li> </ul>	
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動に取り組んでいる地域団体や企業と知りあい、連携したいと思う</li> <li>地域の課題の解決のために、関係機関と連携体制をつくりたいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント等に参加して連携の相手を探す</li> <li>多様な主体が連携してイベントを企画し、地域団体や企業が市民の活動を支援する</li> </ul>	多様な主体が相互理解と協力関係を深めて活動し、市民の積極的な参加が促進されることで、地域を軸とした課題解決力が向上する
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民、地域団体、企業等、立場や分野を超えた支援体制の構築や連携の場をつくりたいと思う</li> <li>地域の現状を踏まえた上で今後必要な連携の在り方を考え、関係部署で共有しようと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民、地域団体、企業の支援体制の状況を把握し、互恵的な関係の構築を支援する</li> <li>地域福祉の関係機関が、他の関係機関との意見交換や情報共有などの交流の機会を設ける</li> </ul>	

# 基本方針 2 だれもが暮らしの問題を相談でき解決できる仕組みづくり



## 基本施策 1 分野や対象にとらわれず困りごとを丸ごと相談できる体制の充実

市民が抱える複合的な課題を、丸ごと受け止めながら迅速な支援につなげていくために、関係者間の分野横断的な連携体制を整備し、福祉の総合相談窓口の体制を強化します。また、福祉関係者の相談支援スキルの向上を図り、市民が身近な場所で気軽に困りごとを相談できる環境づくりを進めます。

### 主な取組

### 「福祉の総合相談」の設置

年齢や性別といった属性を問わず、福祉に関わるさまざまな悩みごとを受け止める「断らない相談窓口」を設置。相談内容に応じた適切な相談支援機関へのつなぎはもとより、一つの相談支援機関での対応が難しい複雑化・複合化した課題等については、複数機関の連携による支援へとつなぐとともに、支援の一翼を担います。



- 取組目標 「福祉の総合相談」への新規相談者数(年間総数)
- 現状値(R5年度) 904人/年 ○目標値(R12年度) 1,100人/年



相談者に寄り添い、解決策を一緒に考えることで安心した生活が送れるようサポートしています。「ひとりにしない」伴走支援を大切にしながら、相談者と支援や地域をつなぐ架け橋となることを目指します。

福祉の総合相談 小倉相談員

### 推進に向けた共創型オーガナイズアクション

対象	気持ちの変化 ♥	行動の変化 👤	成果
市民	・福祉に関する相談先としてのどのような窓口があるのか知りたいと思う ・日常生活の中で抱えている不安や課題を相談してみようと思う	・市のホームページなどで地域生活課題や相談できる場所(福祉関係機関)を調べる ・福祉関係機関に気軽に相談できるようになる	だれもが躊躇なく相談できるワンストップの相談体制が構築され、不安や悩みを抱えている人が、解消に向けて、さまざまな支援機関とつながることができる。また、相談内容に応じて関係機関が横のつながりを構築し、チームとして機能するようになる
地域	・困っている人に気づき、相談支援につないであげたいと思う ・地域で相談ニーズのある人を早期発見できるようにしたいと思う	・地域生活課題やさまざまな福祉相談窓口(福祉関係機関)について調べるようになる ・地域全体で相談ニーズのある人を気にかけるようになる ・地域でだれもが気軽に相談できる場所を作る	
市	・日頃から各関係者と情報交換や連携を深めることを意識しようと思う ・適切な関係先につなげられるように、相談支援機関同士の連携体制を強化したいと思う	・相談支援機関同士が知り合う場を提供する ・断らない相談窓口として機能できるように、相談員を適正に配置するとともに、関係課と連携し機能する相談体制をつくる	

分野や対象にとらわれず、だれもが暮らしの問題について気軽に相談でき、多様な生活課題に応じた的確な支援が受けられ、解決につなげられる仕組みづくりを行います。また、地域の資源を効果的につなげられるよう、市民や地域、福祉関係機関との積極的な対話の場づくりを行いながら、行政内外との連携を図り、相談体制を拡充します。

## 基本施策 2 課題の早期発見と切れ目のないサポート体制の構築

地域と連携した見守り活動により、地域生活課題や市民の個別課題を発見・把握する仕組みづくりを行うとともに、庁内連携会議などを通じた行政内での連携体制を構築します。これにより、福祉サービスの充実と、切れ目のない支援体制を構築します。

### 主な取組 妊婦等包括相談支援事業

全ての妊産婦や子育て世帯を対象に、妊娠期から子育て期まで一体的で切れ目ない相談支援を実施するため、妊娠届出時などに専門職が面談して、必要な情報提供や相談対応を行います。また、関係機関と連携してニーズに応じた必要な支援につなげる伴走型の相談支援を行います。

- 取組目標 伴走型相談支援による面談数
- 現状値(R5年度) 5,928回
- 目標値(R12年度) 9,000回

対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	・市内の子どもに関する相談先を知りたいと思う ・妊娠から子育てまでの不安や悩みを継続的に相談したいと思う	・子どもに関する相談窓口を自分で調べる ・妊娠時から子育て期まで、定期的に専門職へ相談する	妊娠した時から、子育てが終わるまでの不安や悩みを効果的に解決しながら、安心して自分にあった育児ができるようになる
地域	・身近な妊産婦や子育て世帯の力になりたいと思う ・地域での見守りの必要性を感じる	・困っている妊産婦や子育て世帯がいたら、民生児童委員や市の相談窓口につなぐ ・地域ごとにサポート体制を考えるようになる	
市	・必要な人がいつでも気軽に相談でき、支援機関につながりやすい環境を作りたいと思う ・妊娠・出産・子育てに関する関係機関が一体となり支援できる体制を整備したいと思う	・妊娠・出産・子育てのニーズや相談機関の情報整理を行い、積極的に情報を共有・発信する。 ・地域や関係機関との連携を図り、役割を分担しながら支援を行う	

## 基本施策 3 必要な情報を届けるための対話の場づくりと情報発信の充実

市民の現状やニーズを適切に把握しながら、必要な情報が適切に届くようにするために、行政からの一方向だけの情報発信だけでなく、地域福祉のプラットフォームとして、市民との積極的な対話の場づくりを行うとともに、関係部署が連携しながら情報発信の充実を図ります。

### 主な取組 地域子育て支援拠点事業(親子、親同士の交流の場の創設)

就学前の乳幼児と保護者及び妊婦が、気軽に利用できる場所を開設。親子で楽しく遊んだり、他の親子と交流して友達をつくらたり、情報交換をしたりすることができる、ゆるやかな交流の場を提供します。また、子育てに関する相談や、子育て情報の共有、子育てに役立つ育児講座を実施することで、育児に関する悩みの軽減を図ります。

- 取組目標 地域子育て支援拠点(支援センター含む)の利用者数
- 現状値(R5年度) 129,651人/年
- 目標値(R12年度) 135,482人/年

対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	・ちょっとした悩みや子育ての方法などを、身近な人と話したいと思う ・気軽に相談できる場所があることを、同じような悩みを抱える人にも伝えたいと思う	・親子、親同士の交流の場に参加する ・知っている支援サービスや相談窓口の情報を、家族や友人と共有するようになる	子育て中に悩みや不安感があっても、気軽に相談でき、さまざまな立場の人と交流をしながら、子育てを楽しめるようになる
地域	・困っている妊産婦や子育て世帯を、民生委員や市の窓口につなげたいと思う ・孤立や不安を感じている子育て中の人を地域でサポートしていきたいと思う	・地域の子育てサポーターの輪に加わる ・地域の中で、新たな子育て交流の場をつくる ・民間団体を含む子育て支援情報を積極的に届ける	
市	・孤立しがちな子育て中の人の課題や支援ニーズを把握し、関係機関で共有したいと思う ・子育て中の人のつながりづくりを支援したいと思う	・現状やニーズを関係機関で共有する場を設ける ・市内の子育て支援情報が必要な人に届くように、情報の周知方法を工夫する ・子育て中の人が交流できる場を提供する	

# 基本方針 3 だれもが健康で いきいきと暮らせる地域づくり



## 基本施策 1 地域を核とした心身の健康づくりの促進

ライフステージや個人の心身の状態に合わせて市民の主体的な健康づくりを推進します。また、地域を核に社会参加や交流を促進し、身体的な健康に加え、心理面や人とのつながりなどの社会面での健康づくりを図ります。

**主な取組** **フレイル予防の推進**

フレイルチェックやフレイル予防・健康づくり出前講座などを活用してフレイル予防の普及・啓発を行うとともに、地域包括支援センター等の関連機関と連携し、フレイル予防に重要な、栄養（食・口腔）・運動・社会参加の3つの柱を意識した健康寿命延伸の取組を推進します。

○取組目標 かしわ健康アプリに登録してフレイル予防に取り組む65歳以上の市民の数  
○目標値（R12年度）24,000人

*Interview*

フレイルサポーターとして、地域でのフレイルチェックを実施する際は、参加者とのちょっとしたコミュニケーションを大切にしています。フレイルチェックの場は、健康を測定するだけでなく、参加者同士、サポーター同士の交流の機会でもあり、地域のつながりの場でもあります。フレイル予防は、何歳からでも始められます。まずは一回、会場をのぞいてみてください！

かしわフレイル予防サポーター 山口さん



対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の健康維持に取り組みたいと思う</li> <li>将来に備えてフレイル予防の情報や具体的な実践方法を学びたいと思う</li> <li>フレイル予防活動に参加したいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の健康状態を把握し、日々の健康習慣を意識するようになる</li> <li>フレイル予防等、健康増進につながる地域活動に参加しながら、生活習慣を見直す</li> </ul>	フレイル予防の理解促進とフレイル予防を核とした地域づくりや地域活動が活性化し、要介護認定率が下がり、健康寿命が延伸している
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレイル予防等の地域活動への参加を促したいと思う</li> <li>生活環境や心身状態に合わせ、地域でできる多様な社会参加活動に取り組みたいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域でフレイル予防の普及啓発活動を行う</li> <li>地域の中でできる社会参加活動を増やす</li> </ul>	
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレイル予防などの予防活動の重要性を、関係者により一層理解してほしいと思う</li> <li>市民の心身の健康現状を把握したいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレイル予防に関する市の現状や、他地域の活動状況等の情報を収集する</li> <li>フレイル予防を目的とした講座を関係部署と連携しながら企画する</li> </ul>	

## 基本施策 2 子どもの健やかな育ちを保障し応援する環境構築

子どもと保護者が心身の健康を維持・増進できるように、切れ目のないきめ細かな支援を充実していきます。また、地域における子どもの居場所づくりを拡充するとともに、地域内での相互援助活動の活性化を図ります。

**主な取組** **かしわファミリー・サポート・センター住民参加型子育て支援事業**

子どもの送迎や預かりなど、子育ての援助を希望する人と、その援助を提供したい人との相互援助活動（有償）において、その連絡・調整を行います。

○取組目標 ○現状値（R5年度）498人／年  
協会員・両方会員数 ○目標値（R12年度）547人／年

対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援に関する情報を知りたいと思う</li> <li>子育て支援のサービスを使ってみたいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援に関する情報を主体的に収集するようになる</li> <li>自分に合う子育て支援サービスを選択し、実際に利用してみる</li> </ul>	子どもを中心として、子育てに多くの人が関わり、親の不安や負担が軽減され、親も子どもも不安なく安心して暮らせる地域づくりが進んでいる
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で子育てを支える人材として関わりたいと思う</li> <li>子育て中の人のニーズを踏まえ、地域全体で子どもを育てる取組をしたいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で子育てを支える人材として、サポーターなどの活動に参画する</li> <li>地域の中で住民同士の連携を深め、協力者を増やしていく</li> </ul>	
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で子育て中の人のニーズや、現状のサービスにおける課題を把握し整理しようと思う</li> <li>支援の充実に向け、支援内容や体制、人材の確保について関係機関と継続的に検討をしていきたいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に事業を周知するための資料やチラシを作成し、イベントを開催する</li> <li>支援の充実に向け、支援内容や体制整備、人材の確保について関係機関と継続的な検討の機会を設ける</li> </ul>	

子どもから高齢者まで、だれもが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、予防の視点をより重視した健康づくりを推進すると同時に、「受け手」「支え手」といった役割を固定することなく、その人に合った形で活躍できる場づくりを行いながら、地域での健康で自立した生活を支援していきます。

## 基本施策 3 保健・医療・福祉及び生活関連分野の充実と連携

医療・介護・住まい・生活支援など、医療や福祉の専門職と地域との連携による支援体制を強化します。また、健康面で支援が必要な地域住民の早期発見や見守り活動の充実などにより、できる限り地域での自立した生活を支援するための環境づくりを行います。

**主な取組** **多機関協働事業**

複雑化・複合化した課題を持った世帯等に対し、各支援機関が連携して支援を進めます。また、市内を4エリア（北部・中央・南部・東部）に分け、エリアごとに会議（かしまる中会議）を開催し、各エリア特有の課題を見出し支援者間で共有することで支援力の強化及び関係の強化を図ります。さらに、市域全体としても会議（かしまる大会議）を開催し、行政間での情報共有を図ります。

○取組目標 かしわ小会議の開催回数  
○現状値（R5年度）11回／年  
○目標値（R12年度）24回／年

対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活におけるちょっとした悩みや困りごとを相談しようと思う</li> <li>専門機関などを活用しながら、自身が抱えている課題を解決していこうと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>悩みごとや困りごとを相談できる専門支援機関の窓口を探す</li> <li>支援サービスを活用しながら、自身が抱えている課題解決に向けた行動を起こす</li> </ul>	日常生活に課題を抱える市民が、保健・福祉等の適切な支援につながり、サービスを活用しながら、自身が抱えている課題を解決し、その人らしく地域で生活していくことができています
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活においてどのような悩みや課題を抱えている人がいるのか、知ろうと思う</li> <li>悩みを抱える人に対し、地域でできる支援を提供したいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>悩みを抱える人の相談相手となり、必要に応じて相談機関に繋げる</li> <li>地域の助けあい団体や見守り活動を増やす</li> </ul>	
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で連携できる支援機関だけでなく、活用できる地域資源を把握し、整理しようと思う</li> <li>多機関連携の促進に向けた体制構築について、庁内の関係各課と検討したいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援機関や地域の自主組織が連携できる体制を整える</li> <li>体制が効果的に機能するよう、積極的に情報提供し、必要な支援へのサポートを行う</li> </ul>	

## 基本施策 4 あらゆる人が役割を持ち自分らしく活躍できる環境の構築

子どもから高齢者まで、また社会的弱者も含め、あらゆる人がその人に合った形で活躍できる環境づくりを進めます。また、支え・支えられる関係が循環しながら、自分らしく活躍できる環境づくりを進めます。

**主な取組** **ラコルタ柏運営体制支援コーディネーター事業**

「誰もが集える みんながつながる 地域に広がる」をコンセプトとしたラコルタ柏（柏市教育福祉会館）において、地域活動による地域課題の解決を目指した館となるよう、属性や世代を超えたさまざまな人と関わりあえる場の提供やマッチングを行います。また、来館者のニーズや地域課題の情報収集を行い、居場所づくりのコーディネートや担い手づくりを行います。

○取組目標 居場所・活躍の場づくりとしてコーディネートした延べ件数  
○目標値（R12年度）42件

対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラコルタ柏で何ができるのか知りたいと思う</li> <li>興味関心がある活動を探したいと思う</li> <li>活動に参加するだけでなく、活動を企画してみたいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラコルタ柏に行き、コーディネーターに話しかけてみる</li> <li>自分が実践したい、活躍したい、得意と思っている活動を可視化できる</li> <li>主催者としてイベントを開催する</li> </ul>	属性に関わらず多くの市民や団体が、自分に合った活動を見つけて、活躍できる場がある。また、暮らしている地域等に活動を広げ、地域の活動に関わる人材が増える
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラコルタ柏を使ってみたいと思う</li> <li>ラコルタ柏で住民参加や交流につながる機会をつくりたいと思う</li> <li>自分たちの地域でもイベントを開催したいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラコルタ柏のイベントを地域でも周知し、地域住民と共に参加してみる</li> <li>ラコルタ柏を使ってイベントを開催する</li> <li>地域の施設等で、イベントを企画するようになる</li> </ul>	
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者を通じて、地域の課題や現状を知りたい、把握したいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者が活躍できるイベントの開催を手伝う</li> <li>関係機関と人材のパイプ役を行う</li> </ul>	

# 基本方針 4 だれもが安全・安心に暮らせる地域づくり



## 基本施策 1 防災対策と災害時の支援体制の充実

災害時に備え平時からの地域連携を強化するとともに、発災時に要配慮者の安全・安心が確保できるよう、避難支援体制の構築やボランティアコーディネート機能の充実を図ります。また、被災後にも確かな早期復興ができるよう、事前対策を講じていきます。

**主な取組 個別避難計画の策定**

災害に備え、避難行動要支援者ごとの避難計画を作成する事業です。ケアマネジャー等の福祉専門職へ市が委託して作成するほか、本人・家族が自ら作成する計画づくりの支援を行います。

○取組目標 個別避難計画の対象者に対して働きかけを行った割合  
○現状値 (R5年度) 0.5% ○目標値 (R12年度) 100%

**Interview**

要支援者のかたと共に計画を作ることで、災害が起こる自身の場面をイメージすることができ、避難の流れを実感できます。また、自分の思いを共有できる早い時期に作成することが重要だと感じました。地域生活は常に「おたがいさま」です。お互いの少しずつの力で、大きな助けあいになればいいですね。 柏北部地域包括支援センター 山本センター長

対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	・普段から災害を意識し、災害を自分ごとと思う ・平常時から災害に備え、防災用品や避難場所、避難経路などを確認しておこうと思う	・災害対策に関する情報の収集や勉強会に参加する ・日ごろから災害に備え、自主的に避難計画を作成する	
地域	・災害時に支援が必要な地域住民について、関心を持つようになる ・普段からの住民同士のつながりが大切だと思う ・地域で助けあえる環境をつくりたいと思う	・地域内で避難計画や訓練等の防災に対する勉強会を開催する ・地域にはさまざまな立場の人がいることを理解し、日頃から「見守り」や「声掛け」をするようになる ・地域全体での避難方法を検討し住民同士で共有する	市民の災害への意識が高まり、日頃からの備えが強化される中で、多様な立場の人への理解と備えの必要性を考え、災害時に誰もが適切な行動をとれる状態になっている
市	・災害時に支援が必要な人の生活状況等の情報を関係機関内で把握・整理したいと思う ・災害を自分ごとと捉えてもらうために、情報発信の工夫が必要だと思う	・地域だけでは支援ができない避難行動要支援者を把握し、関係機関と情報共有しながら発災時の対策を立てる ・広報啓発や学びの機会の充実を図る	

## 基本施策 2 地域安全活動の充実

住民の防犯意識の向上に向けた普及啓発や、防犯対策を意識した地域環境の整備を進めます。また、地域と連携し、日頃から防犯の視点を持って見守り活動を行うことで、安全・安心な地域づくりを進めます。

**主な取組 地域での防犯対策等の推進**

地域の防犯活動を推進する「防犯指導員」と共に、地域の防犯パトロールや子どもの見守り活動、防犯情報の広報啓発活動などに取り組み、地域住民の防犯意識を高めます。また、夜間における犯罪の発生防止及び通行の安全を図ることを目的とし、町会・自治会・区等と連携しながら、安全・安心な地域となるよう防犯カメラの設置及び維持管理を進めます。

○取組目標 防犯指導員の登録者数  
○現状値 (R5年度) 889人/年  
○目標値 (R12年度) 916人/年

対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	・消費者トラブルや事故、犯罪被害などを自分ごとと思う ・隣近所への声掛けや、町会の防犯活動に参加しようと思う	・日頃から自分でできる防犯対策を行う ・隣近所へ声掛けや町会の防犯活動へ参加するようになる	
地域	・地域の犯罪状況や防犯対策の取組などに関心を持つ ・地域の防犯パトロールや子どもの見守り活動、防犯情報の広報啓発活動に積極的に取り組もうと思う	・地域の防犯・安全面で気になる点を市に情報提供する ・日頃から町会内で声を掛け合うようになる ・防犯指導員や地域の防犯活動に協力する地域住民が増える	市民の防犯への意識が高まるとともに、防犯指導員を中心に、互いに声掛けなどを行いながら防犯活動が積極的に行われることで、地域住民が不安なく安心して暮らすことができています
市	・市民一人ひとりの防犯意識を高めたいと思う ・町会と連携し、必要な支援や役割分担を整理しようと思う ・防犯対策などに役立つ情報を収集し、市民や地域が役立てられるようにしようと思う	・市民や町会に役立つような情報提供や啓発活動を行う ・町会の取組状況や、ニーズ・課題を把握し、情報交換の機会を増やす ・町会活動を支援するため、財政面での支援を整備する	

地域特性や人々のつながりの特性を踏まえ、住民同士の支えあいや地域コミュニティの構築を支援し、住民の意識の醸成を図りながら地域での防災や災害時の対策を進めます。また、虐待や成年後見制度等の権利擁護に関する理解を促進し、だれもが尊重される地域づくりと安全・安心に暮らせるための環境づくりを進めます。

## 基本施策 3 居住・就労・移動支援の充実

一人ひとりの特性や状況を考慮し、住宅確保要配慮者への「住まい」の支援や、就労の機会創出及び移動手段の確保など自立に向けた支援体制の充実を図ります。

**主な取組 障害者の一般就労及び職場定着の促進**

障害者等の多様なニーズに対応するため、障害者就労の関係機関の連携を通じて障害者雇用を促進するとともに、ジョブコーチ派遣事業等を活用し、職場定着支援の強化に取り組みます。また、就労支援関係機関等と連携し、企業における障害理解を促進します。

○取組目標 就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行した人数  
○現状値 (R5年度) 69人/年  
○目標値 (R12年度) 97人/年

対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	・社会とつながるきっかけが欲しいと思う ・自分にあった仕事を探したいと思う		・障害者雇用に関する情報を自主的に収集できるようになる ・就労移行支援事業を活用して、一般就労に向けた準備を行う
地域	・障害者の特性や就労状況の現状・ニーズを理解しようと思う ・障害者を採用したい、一緒に働きたいと思う	・障害特性への理解を深め、相談会や勉強会を開催する ・ジョブコーチを活用して、職場定着に向けた環境づくりを行う	障害者が持てる能力を發揮し、地域の中で役割をもって自分らしくいきいきと、継続して働くことができる場がある
市	・障害者の就労ニーズや企業の雇用ニーズを把握し、関係者間で共有できるようにしたいと思う ・障害者の就労理解促進のため、企業が活用できる支援制度の周知を強化しようと思う	・障害者就労に関する事例や、支援体制について企業等への情報発信を充実していく ・就労を希望する人への相談会や、本人が安心して働ける制度や事例の共有を行う	

## 基本施策 4 権利擁護と虐待防止の推進

住民や関係機関の虐待防止・権利擁護についての理解を促進し、地域での見守りや支援体制を強化することで、虐待の早期発見と迅速な対応を推進します。また、権利擁護支援の理解促進と必要な人が制度を利用できる支援体制づくりによる利用促進に取り組みます。

**主な取組 こども・若者相談センターの設置**

子どもや若者、子育て家庭への支援の拠点として、児童相談所、こども家庭センター（児童福祉+母子保健）、若者支援等の機能を含んだ複合施設である「(仮称)柏市こども・若者相談センター」を整備し、子どもを取り巻く複合的な問題に対し、子どもの最善の利益を優先した支援に取り組みます。

○取組目標 虐待相談対応件数  
○現状値 (R5年度) 1,077件/年  
○目標値 (R12年度) 1,360件/年

対象	気持ちの変化	行動の変化	成果
市民	・子育て中の親とその子どもが、辛い時に悩みや困りごとを相談できる場所を知りたい・ほしいと思う ・同じような立場の人や近隣に住む人とのつながる機会が欲しいと思う		・悩みや困りごとを相談できる窓口を探し、相談に行くようになる ・子ども向けのイベントや地域の交流の場に足を運ぶようになる
地域	・子どもや子育て世帯が抱えている課題や相談ニーズを知りたいと思う ・子どもや親に関する相談窓口を把握しようと思う ・地域でできるサポートを考えたいと思う	・子どもや子育て世帯に日頃から声かけを行うようになる ・気になる子どもや子育て世帯を見つけた際に、相談窓口へ相談したり、相談先を紹介したりする ・地域内で子どもを意識した交流の場を設ける	すべての子どもを個人として尊重し、切れ目のない相談支援体制を構築することで、すべての子どもが安心して生活でき、心身ともに健やかに育つことができています
市	・相談窓口の認知度や支援ニーズを適宜把握し、関係者間で共有したいと思う ・切れ目のない支援のため、細やかな情報共有と、本人も関係者も相談しやすい体制を作ろうと思う	・相談窓口が、気軽に利用できる場となるように情報発信するとともに、職員の支援スキルの向上を図る ・各機関の強みや機能を生かした支援ができるよう、役割分担をしながら、互いに相談・協力しあえる関係をつくる	

## 柏市再犯防止推進計画

### 計画の目的（方向性）

犯罪をした人の多くは、安定した仕事や住居の確保が困難であることや、年齢や障害、家族との関係などさまざまな課題を抱えています。これらの課題に対して、福祉、医療、教育、労働などの多分野での連携を強化し、個別のニーズに応じて支援します。また、犯罪をした人が再犯せずに社会復帰するためには、地域の理解と協力が不可欠です。そのため、地域住民や企業、関係機関への啓発活動を進め、社会全体での再犯防止への理解を深め、取組を強化します。

### 計画の体系（重点方針）

#### 重点方針1 社会における居場所の確保

就労支援、住居の確保を支援し、生活基盤を整えることで社会復帰を促進します。

#### 重点方針2 保健医療・福祉サービスの利用の促進等

保健医療・福祉サービスを必要とする人が適切な支援を受けられるように支援します。

#### 重点方針3 非行の防止・学校等と連携した就学支援の実施

非行の未然防止や学校等との連携した立ち直り支援を行い、青少年の健全な育成を支援します。

#### 重点方針4 犯罪をした者等の特性に応じた効果的な指導の実施等

罪種ごとに認められる特徴や、犯罪の背景にある事情を把握し、個々に応じた効果的な支援を行います。

#### 重点方針5 民間協力者の活動の促進等

犯罪をした人等の社会復帰支援は、数多くの民間協力者の活動に支えられています。民間協力者の活動の支援を行うと同時に、より多くの民間協力者に再犯防止の取組に参画してもらえるよう、働きかけを行います。

### 更生保護団体、取組の紹介

#### 保護司及び保護司会

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。保護司法に基づき、法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員ですが、給与は支給されません。保護司は、保護観察官と協働して保護観察にあたるほか、犯罪や非行をした人が刑事施設や少年院から社会復帰を果たしたとき、更生を促し、スムーズに社会生活を営めるよう、釈放後の住居や就業先などの帰住環境の調整や相談を行っています。柏地区保護司会は柏市・我孫子市・流山市の3市から構成されており、令和6(2024)年4月1日時点で92名の保護司が活躍しています。

#### 更生保護女性会

地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力することを目的とするボランティア団体です。東葛飾地区更生保護女性会は柏市・我孫子市・流山市の3市から構成されており、令和6(2024)年4月1日時点で68名の会員が活躍しています。

#### 協力雇用主会

協力雇用主は、犯罪をした人等の自立及び社会復帰に協力することを目的として、犯罪をした人等を雇用し、又は雇用しようとする民間の事業主です。本市では令和6(2024)年4月1日時点で60社の登録があります。柏地区更生保護協力雇用主会は柏市・我孫子市・流山市の3市から構成されています。

#### 社会を明るくする運動

全ての国民が、犯罪・非行の防止と犯罪・非行をした人の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。本市では、この運動の強調月間である7月に広報啓発を行っています。また、その他のイベントや小中学生を対象とした作文コンテスト、活動を紹介するパネル展示等を行っています。

## 施策の進捗評価

施策の評価にあたっては、「基本施策別の基本施策と取組」に記載している「取組目標」の数値評価に加えて、基本方針ごとに「結果指標」を設定し、市民アンケート調査による進捗・評価を行います。

※基準値は令和5年度時点

### 基本方針1 だれもが身近な地域の問題に関心を持ち共に支え合う地域づくり

	基本施策	結果指標（評価項目）	基準値（※）	方向性
1	地域での支えあい、助けあいにに向けた気づき・学びの場と活動の促進	① 地域福祉に関するボランティアや市民活動などに取り組んでいるか	① ボランティアに取り組んだことがある <b>30.2%</b>	↑
2	地域福祉を担う人材の掘り起こしと育成・活躍支援	② 地域での支えあいや助けあいに興味を持っているか	② 支えあいや助けあいに興味がある <b>74.5%</b>	
3	地域における多様な主体との包括的連携体制の構築と活動支援			↑

### 基本方針2 だれもが暮らしの問題を相談でき解決できる地域づくり

	基本施策	結果指標（評価項目）	基準値（※）	方向性
1	分野や対象にとらわれず困りごとを丸ごと相談できる体制の充実	① 柏市の健康や福祉に関する情報は、入手しやすいと思うか	① 入手しづらいと思う <b>19.8%</b>	↓
2	課題の早期発見と切れ目のないサポート体制の構築	② 健康や福祉に関することで困ったときに、相談できる人がいるか	② 相談できる人がいない <b>5.5%</b>	
3	必要な情報を届けるための対話の場づくりと情報発信の充実			↓

### 基本方針3 だれもが健康でいきいきと暮らせる地域づくり

	基本施策	結果指標（評価項目）	基準値（※）	方向性
1	地域を核とした心身の健康づくりの促進	① 健康だと感じているか	① 健康だと思う <b>76.0%</b>	↑
2	子どもの健やかな育ちを保障し応援する環境構築			
3	保健・医療・福祉及び生活関連分野の充実と連携	② 住んでいる地域は障害者や高齢者、子育てをしている人にとって安心して生活できる環境だと思うか	② 安心して生活できる環境だと思う <b>64.7%</b>	↑
4	あらゆる人が役割を持ち自分らしく活躍できる環境の構築			

### 基本方針4 だれもが安全・安心に暮らせる地域づくり

	基本施策	結果指標（評価項目）	基準値（※）	方向性
1	防災対策と災害時の支援体制の充実	① 地域の中で安心して生活できていると感じるか	① 安心して生活できていると感じている <b>81.6%</b>	↑
2	地域安全活動の充実			
3	居住・就労・移動支援の充実	② 災害が起きた時に支援してくれる人はいるか	② 支援してくれる人はいない <b>5.1%</b>	↓
4	権利擁護と虐待防止の推進			

# 柏市重層的支援体制整備事業実施計画

## 計画策定の背景

令和3年4月に改正された社会福祉法に基づく「重層的支援体制整備事業」が創設され、本市では令和4年度から開始しています。この事業は、「つながり続ける支援体制の構築」をコンセプトに、すべての地域住民を対象とし、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施し、人々の生活そのものや生活を送る中で直面する困難・生きづらさの多様性・複雑性に応えるものです。

そのためには、市民や関係機関、地域の多様なステークホルダー間で事業の理念や目指すべき方向性を共有し、一人ひとりが地域の一員としての役割を再認識することが不可欠です。また、関係者間の意識の醸成は、単なる協力関係の構築を超え、地域全体が支援の主体となり、問題を共に解決する「共創」の姿勢を育むことが重要です。このような取組を通じて、柏市の「チーム支援」を築き、地域全体が持続可能で活力ある未来に向けて一丸となって取り組む基盤を確立するため、柏市重層的支援体制整備事業実施計画を策定します。

## 柏市における重層的支援体制整備事業の方向性

生活課題が多様化する世帯などが全国的に増加する中、本市では、相談支援業務をワンストップで行える相談窓口として、福祉の総合相談を設置しました。切れ目のない相談支援に取り組むとともに、困難な生活課題にも対応できる体制を整備し、令和4年度から重層的支援体制整備事業を開始しました。

本市では、「重層的支援」を以下のように捉えています。

### i. 生活課題を含む「重層的」な課題

複雑化・複合化した生活課題があるため、既存制度(高齢者・障害者・子どもなど)で考えるだけではなく、多面的に対応する。

### ii. 多様な人が関わり合う「重層的」な機関

全てを兼ね備えた支援機関はないため、ひとつの支援機関で抱えることなく、さまざまな機関(市民や地域も含めて)連携・協力できる体制で役割分担する。

### iii. 相談(入口)から地域生活(出口)までの「重層的」な支援

生活課題の相談だけに留まらず、必要な支援機関につなげ、それぞれに寄り添った伴走支援までを一連の流れで実施する。



## 地域健康福祉

本市が理想とする地域健康福祉像に向けて、福祉分野だけでなく健康医療等を含む、さまざまな地域福祉に関する施策を総合的、計画的に推進するための全体的な考え方

## 地域生活課題

福祉サービスを必要とする地域住民が日常生活を営み、あらゆる分野の活動に参加する機会が確保される上でのさまざまな課題

## 住宅確保要配慮者

住宅確保に特に配慮を要する人として、住宅セーフティネット法に定められている以下のいずれかに当てはまる人のこと。(低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子どもを養育している人、その他住宅の確保に特に配慮が必要な人)

## 権利擁護

福祉サービスの利用者本人が、自らの意思を表明するよう支援すること、及び表明された意思の実現を権利として擁護していく活動を意味し、意思表示の能力に限界のある人々については、本人の利益を本人に代わって擁護すること(代弁)

## 再犯防止

国、地方公共団体、民間協力が協力し、犯罪や非行をした人が再び罪を犯すことを防ぐこと

## フレイル

加齢に伴い心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下した状態。多くの人が健康な状態からフレイルを経て要介護状態になると考えられている

## Information

### あなたが困ったとき... 無料相談窓口一覧

地域福祉に関する活動としてご紹介した各種取組の内容から、どこかに相談したい、どこかにつなげてもらいたいと思ったかたは、相談窓口一覧を市のホームページに公開しておりますので、右記の二次元コードから御覧ください。

